

## 新規提出書類リスト及びチェック項目（2年課程）

### 《申請時》

- 貸付申請書（第1号様式）※全員必須
  - ☐ 必要事項を記入しているか？（チェック項目は別紙参照）
- 推薦状（第2号様式）※全員必須 ※養成施設作成のため養成施設にてチェック
  - ☐ **提出時は厳封されたものを提出してください。**
  - ☐ 養成施設名・在学年・氏名を記入しているか？
  - ☐ 席次・推薦順位を記入しているか？  
→必ず記入してください。記入していない場合、選考に支障が出ます。
  - ☐ 学科の成績を記入しているか？  
→必ず記入してください。ただし、養成施設の運用上、成績を開示できない場合は、その旨を余白に記入し、成績状況についても併せて記入してください（良好等）。
  - ☐ （該当がある場合）臨床実習の評価を記入しているか？
  - ☐ 自主性等の性行について、評価が記入されているか？  
→A・B・Cで評価してください（A:優れている、B:普通、C:物足りない）
  - ☐ 人物の総評、推薦の参考事項が記入されているか？
  - ☐ 日付が記入されているか？
  - ☐ 2年生以上の学生の場合は、前年の学年の成績証明書を添付しているか？
- 特例貸付修学資金申請に係る申出書
  - ☐ 日付・氏名・養成施設名・学部学科を記入しているか？
  - ☐ 一般修学資金との併願の有無を選択しているか。
- 申請者を含む世帯全員の住民票の写し ※全員必須
  - ☐ コピーではなく、原本を添付しているか？
  - ☐ 氏名、現住所、本籍地、世帯主、生年月日が記載されているか？  
→申請書に記載の内容と齟齬がないようにしてください。
  - ☐ 個人番号（マイナンバー）は記載されていないか？  
→個人番号は不要です。記載がある場合は再取得してください。
  - ☐ 申請書の「家族の状況」と一致した世帯全員の写しが添付されているか？  
→同居していなくても、仕送り等で生計を一にする場合は同一世帯とみなしますので、同居していない者についても提出が必要です。
  - ☐ 提出日前3か月以内に発行されたものか？  
→提出日より3か月を超えて発行されたものは無効となりますので、再度取得してください。
- 申請者を含む世帯全員の市町村民税課税（非課税）証明書 ※全員必須
  - ☐ コピーではなく、原本を添付しているか？
  - ☐ 住民票の写しと一致する人物の証明書が添付されているか？  
※ただし、16歳未満の者については不要です。  
→同居していなくても、仕送り等で生計を一にする場合は同一世帯とみなしますので、同居していない者についても提出が必要です。
  - ☐ 前年度の証明書となっているか？  
→令和7年度の申請をする場合は、令和6年度の証明書（令和5年1月～12月までの所得金額）となります。前年度分の証明書で決定します。
  - ☐ 提出日前3か月以内に発行されたものか？  
→提出日より3か月を超えて発行されたものは無効となりますので、再度取得してください。
  - ☐ 市町村民税課税（非課税）証明書ではなく、違う書類が添付されていないか？（確定申告時の書類等）  
→課税（非課税）証明書以外の書類での代用は受け付けておりません。必ず課税（非課税）証明書を提出してください。
- 申請者を含む世帯全員の市町村民税の課税標準額及び調整控除の額を証明できる書類 ※該当者のみ
  - ☐ 課税標準額と調整控除の額が確認できるか。
  - ☐ 住民票の写しと一致する人物の証明書が添付されているか？  
※ただし、16歳未満の者については不要です。  
→同居していなくても、仕送り等で生計を一にする場合は同一世帯とみなしますので、同居していない者についても提出が必要です。
  - ☐ 前年度の証明書となっているか？  
→令和7年度の申請をする場合は、令和6年度の証明書（令和5年1月～12月までの所得金額）となります。前年度分の証明書で決定します。
  - ☐ 課税証明書で確認できる場合は不要です。
- 退職証明書等、退職又は休職を証明できる書類 ※該当者のみ
  - ☐ 本人の氏名、勤務先等が確認できるか。
  - ☐ 退職日や休職期間が確認できるか。
- 給与明細等、収入の減少を証明できる書類 ※該当者のみ
  - ☐ 本人又は主たる生計維持者の氏名、勤務先等が確認できるか。
  - ☐ 令和7年4月又は5月の収入が確認できる書類か。
  - ☐ 入学前年度の同月又は1月から3月の収入が確認できる書類か。
- 大規模災害に被災したことを証明する書類 ※該当者のみ
  - ☐ 罹災証明書等が添付されているか？（写し可）

(別紙)

## 修学資金貸付申請書チェック項目

### 【表面】

- ☐ 提出日が記入されているか？
- ☐ 養成施設名が記入されているか？
- ☐ 氏名の上にフリガナを記入しているか？
- ☐ 入学年月に間違いはないか？
- ☐ 在学年に間違いはないか？
- ☐ 現在や今まで神奈川県看護師等修学資金貸付金を借りていた場合は、前修学生番号が記載されているか？
- ☐ 特例貸付又は2年課程の申請を行う場合、初回加算金の有無を記載しているか？  
→2年生以上の学生が申請する場合は、「希望しない」に○が付いているか確認してください（入学年度しか希望できないため）。
- ☐ 住所は住民票の住所となっているか？  
→**現住所が異なる場合は、空いてるスペースに現住所を記載してください。**
- ☐ 自宅の電話番号、昼間の連絡先は記入されているか？  
→自宅に固定電話番号がない場合は、連絡のつく電話番号を記入してください。
- ☐ 健康状況について記載しているか。
- ☐ 健康状況について記入されているか？
- ☐ 卒業後の就業希望先が記入されているか？  
→卒業後に神奈川県内で看護職員として勤務する意思のある学生を対象としているので、記入されていない場合は、貸付けをお断りさせていただきます。
- ☐ 生計を一にする家族の状況が記入されているか。  
→「続き柄」は申請者本人から見ての続柄となります。

### 【裏面】

- ☐ 連帯保証人は2名記入されているか？  
→**連帯保証人は2名必ず必要です。2名立てられない場合は申請できません。**  
→独立した生計を営み、それぞれ別生計か？
- ☐ 住所や電話番号の連絡先がすべて記入されているか？
- ☐ 勤務先がある場合は、記入されているか？
- ☐ 年収が記入されているか？  
→年金収入等、給与収入以外でも収入がある場合は必ず記入してください。  
独立した生計を営む方を連帯保証人の要件としていますので、収入が0円の方を連帯保証人として立てることはできません。